

## てんけんくんが行く!!

## 自転車整備の匠にまくられる〜

## 〜花月園競輪 編〜



**業**界のマスコットキャラクター「てんけんくん」がさまざまな場所へ突撃取材を行うシリーズ「てんけんくんが行く」の第9弾。「花月園競輪」で検車業務や整備作業をされる房野勇治さんにてんけんくんが突撃!

☆

灼熱の競輪場を波乱が駆け抜ける…接触によるゴール前での大量落車。

9選手中、6選手が時速70km以上でバンクに叩き付けられる。肋骨・鎖骨骨折など当り前、という競輪の落車事故。選手のヘルメットはひび割れ、ユニフォームはボロボロに裂ける。自転車のフレームは歪み、その機能を失った。

落車を回避した3選手がゴール線上を駆け抜ける。青空にフラッグがはためき、悲鳴と怒号が沸く…。しかし、レースは未だ終わっていない。全選手がゴール線を越えるか、棄権の意思表示をするまではレースは終了しないからだ。4着の座は未だ空白。動かなくなった自転車を抱え、ケガのため満足に動かない脚を引きずり、ゴールに向かって走る選手たち。

場外でTVモニターを眺めるてんけんくんがつぶやく。「これはすごい競技だ…。てんけんくんの足はレース会場のメカニックブースへと向かっていた…

☆

**てんけんくん**：競技用自転車ってものすごくシンプルに作られていますね!

**房野さん**：皆さんが普段利用されている自転車と競技用自転車では大きな違いがあります。まず、「ハ

ンドブレーキがない」ことが挙げられます。競技用自転車は、ペダルの回転を抑えることで減速します。ハンドブレーキがないのは安全のためです。「エッ?

ハンドブレーキがないのが安全のため？」と思うかもしれませんが、競技用自転車は時速70キロを超えて路面を走行しますから、ハンドブレーキでの急激な制動は意図しない事故を起こしかねません。

また、一般の自転車と比べてタイヤも薄く、溝も独特のパターンが刻まれており、チューブはシリコン製(一般に販売されているものはゴム製)となっています。

まさに、速く走るために生まれたサラブレッドといえるでしょう。

**てんけんくん**：僕の知っている自転車とはずいぶん違うなあ…

**房野さん**：競技用自転車は人力で地上を一番速く移動できる乗り物で、一歩間違えれば簡単に自分の命を落としてしまいます。

競輪はコンマ1秒を争うシビアな競技ですから、

トラブルが起きた場合、危険度もそれだけ高いと言えます。自転車のトラブルは突然起こるものではなく、必ず前兆があります。それを発見し、安全に競技できるように安全性をチェックするために、競技前には必ず「自転車の検査業務」を行います。

**てんけんくん**：なるほど!選手が安心して競技に集中できるように検査するのですか?どのような内容をチェックするのですか?

**房野さん**：検車場での検査項目

◎佐々木龍也選手。世界選手権出場やワールドカップ出場、アジア選手権制覇を果たした花月園のスター選手だ!



◎スーパースター滝沢正光さん!グランドスラム(日本選手権、高松宮杯、オールスター、全日本選抜、競輪祭、全てで優勝した者にのみ与えられる名誉ある称号)だ!



競技用自転車の検査は1台1分という過密スケジュールで行われる。短時間で基本的な検査から金属疲労のチェックまで、ぬかりなく行うには高い集中力が不可欠だ。



は大きく分けて4つ。「目視検査」「締付検査」「加重検査」「測定検査」という内容になっており、合わせて47箇所を確認します。この全てをクリアできない自転車は競技に参加することができません。検査で不合格になった場合は、自転車の該当部位を補修または交換した後に再度検査を受け、合格する必要があります。さらに走行後にも検査を必ず行いますが、これは「自転車の検査業務」後に改造したり、申請と違う自転車で競技に参加していないか確認するためのものです。

接着は、選手自らが検査直前に行います。

**てんけんくん**：なるほど、選手自らが自分の自転車に責任をもってメンテナンスしているのですね。

**房野さん**：そうです。若い選手の中には当然のように「直してください」と自転車を持って来る人もいますが、私が現役選手だった頃は「人様の手を煩わせるなんてとんでもない」という時代でしたから、自分の自転車をメンテナンスできない人はブツ飛ばされましたね（笑）。やはり「愛車」は自ら点検整備できるようにしておきたいものです。

**てんけんくん**：う～ん、厳しいお言葉！でも、プロのアスリートを暖かく見守る房野さんの優しい気持ちも伝わってきます！自動車の点検もドライバー自身が行うのが基本ですもんね！よし、僕も点検整備の大事さをもっとみんなに広めなきゃ!!

☆

「てんけんくん」の好奇心は止まらない。明日はどこに突撃するのか……（続く）



(左) 難しいリムにタイヤを貼り付ける作業も、サッとやっってしまう房野さんの技術は日本一！職人気質で選手からの信望も厚い人なんだ。

(右) てんけんくんが仕事場にお邪魔したよ！スーパーstarとのショット、てんけんくんもうれしそう！

**てんけんくん**：へえ～。自動車の車検と似ていますね！

**房野さん**：自転車検査員は全ての検査を1分程で完了させます。検査の際、特に注意する箇所はタイヤです。競技用自転車はタイヤの接地面が前後輪合わせても数センチという小さな面積で高速度走行を行います。チューブラと呼ばれる競技用のタイヤは、チューブと同じドーナツ形状をしていて、リムとは接着剤でくっついているだけです。そのため、溝の深さやタイヤとリムの接着の確認には一番気を遣います。

ちなみにリムとタイヤの

取材協力：南関東自転車競技会・花月園競輪

競輪の舞台となるバンク(競走路)でてんけんくんが疾走！バンクは、陸上競技用のトラックと違い全体が水平ではなく、直線部分で2～4度、コーナーでは30度前後の角度で内側に傾斜している。

